

2013年3月期決算説明会

項目	スピーカー		Page
ご挨拶	代表取締役社長	玉村 和己	3
13. 3期決算概要	執行役員経理部長	堀本 守朗	9
14. 3期事業計画	執行役員経営企画部長	杉山 徹	17



ご挨拶

代表取締役社長 玉村和己



13. 3期実績

- ・ 売上高5,079億円(前期比15.3%増) (過去最高)
- ・ 営業利益300億円(前期比33.5%増)
- ・ 経常利益349億円(前期比46.2%増) (過去最高)

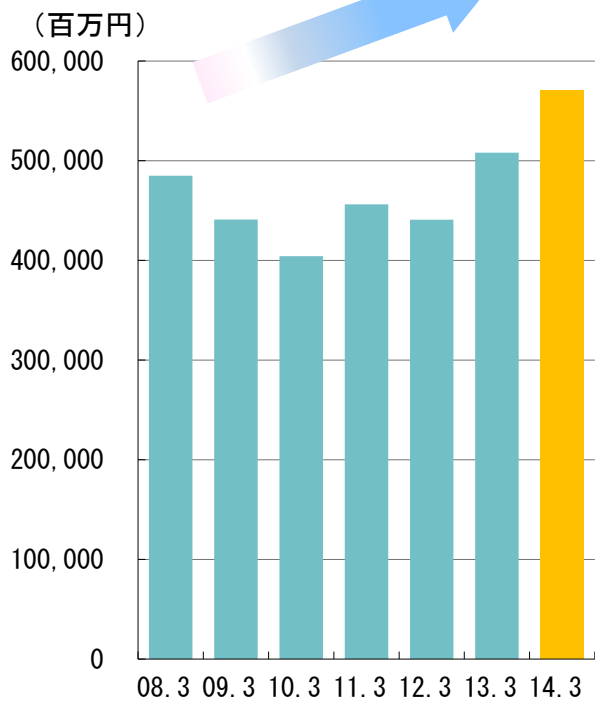
さらなる海外展開

- ・ インド：初のシート製造・販売会社を設立
- ・ メキシコ：初の懸架ばね生産会社を設立

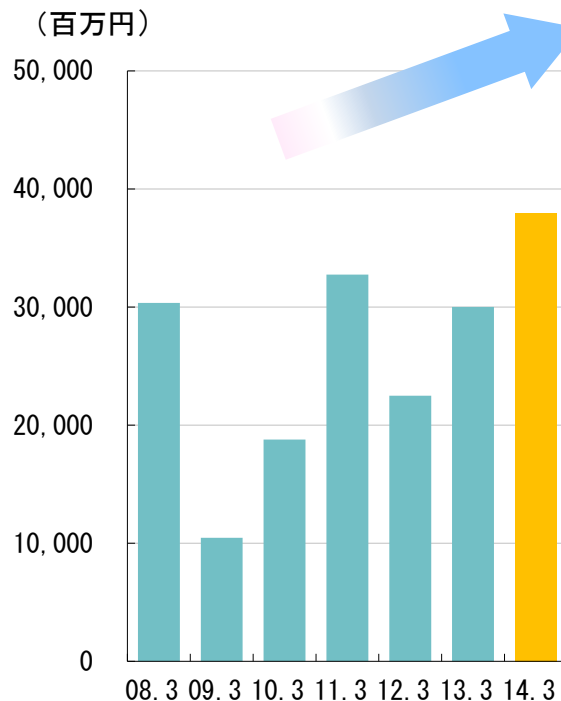
14. 3期事業計画

- ・ 売上高5,700億円(前期比12.2%増) (過去最高)
- ・ 営業利益380億円(前期比26.6%増) (過去最高)
- ・ 経常利益400億円(前期比14.6%増) (過去最高)

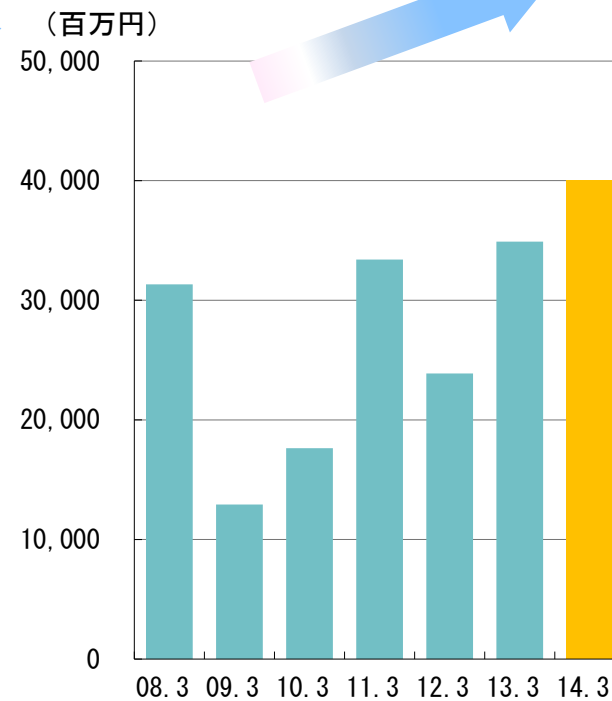
売上高



営業利益



経常利益



さらなる海外展開

インド：初のシート製造販売会社を設立
(クリシュナとフォルシアとの合併)

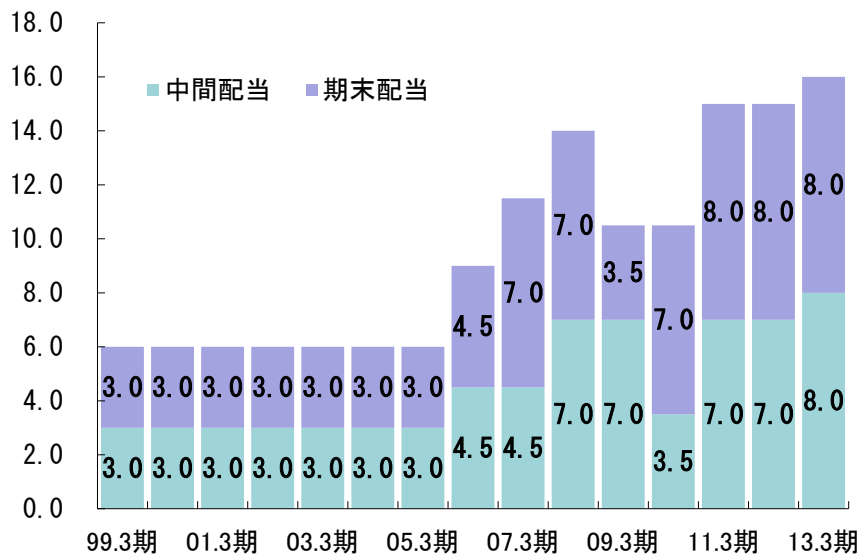
メキシコ：初の懸架ばね生産会社を設立
(同敷地内に連結子会社のトープラも
現地法人を設立)

14. 3期事業計画

- 売上高5,700億円(前期比12.2%増) (過去最高)
- 営業利益380億円(前期比26.6%増) (過去最高)
- 経常利益400億円(前期比14.6%増) (過去最高)

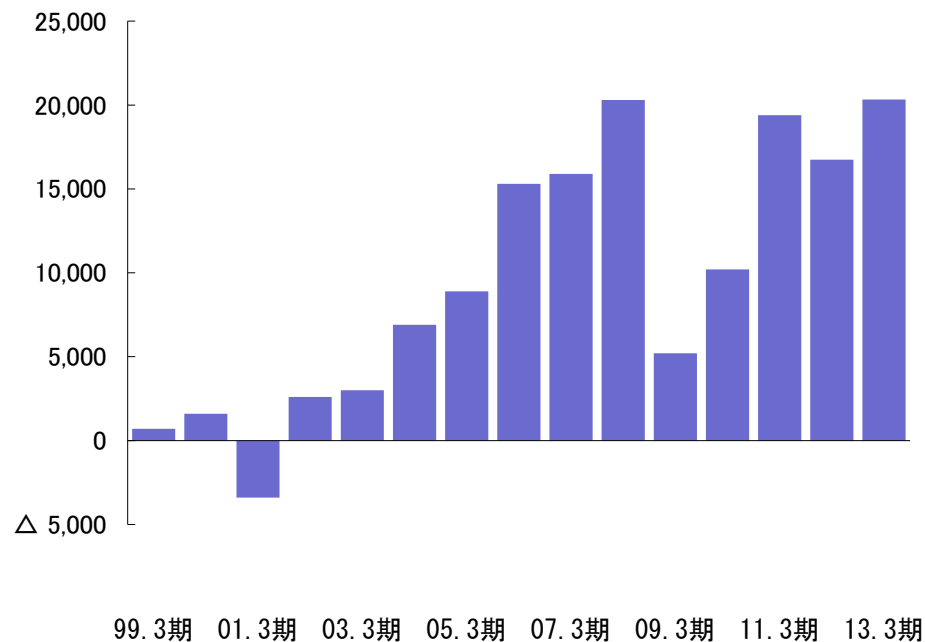
一株当たり配当額

(円)



当期利益

(百万円)



13.3期第2四半期末配当 : 8円
 13.3期期末配当 : 8円



どちらか
Or ではなく

and

どちらも
の思考と行動へ。

さらなる発展への道は「AorB」ではなく、
「A and B」の思考と行動。
あらゆる可能性に積極的に取り組もう!

2013年度方針

- 🐰 グローバル事業の拡大
- 🐰 ニッパツグループ経営力の強化
- 🐰 国内事業の拡大
- 🐰 CSR活動の継続的な推進

13. 3期決算概要

執行役員 経理部長 堀本守朗



13. 3期実績① ハイライト

- ◆ 震災からの復興需要と国内エコカー補助金の効果などにより、国内の自動車関連の受注が拡大。前期比で増収増益となり、売上と経常利益で過去最高を更新。

(単位：百万円)

	12・3期	13・3期			
	実績	実績	前期比	当初計画	修正後計画
売上高	440,752	507,985	15.3%	530,000	510,000
営業利益	22,493	30,020	33.5%	38,000	30,000
経常利益	23,884	34,907	46.2%	39,000	32,000
当期利益	16,741	20,333	21.5%	27,000	21,000
1株当たり当期純利益 (EPS 単位円)	71.47	83.70	—	—	—

13. 3期実績②

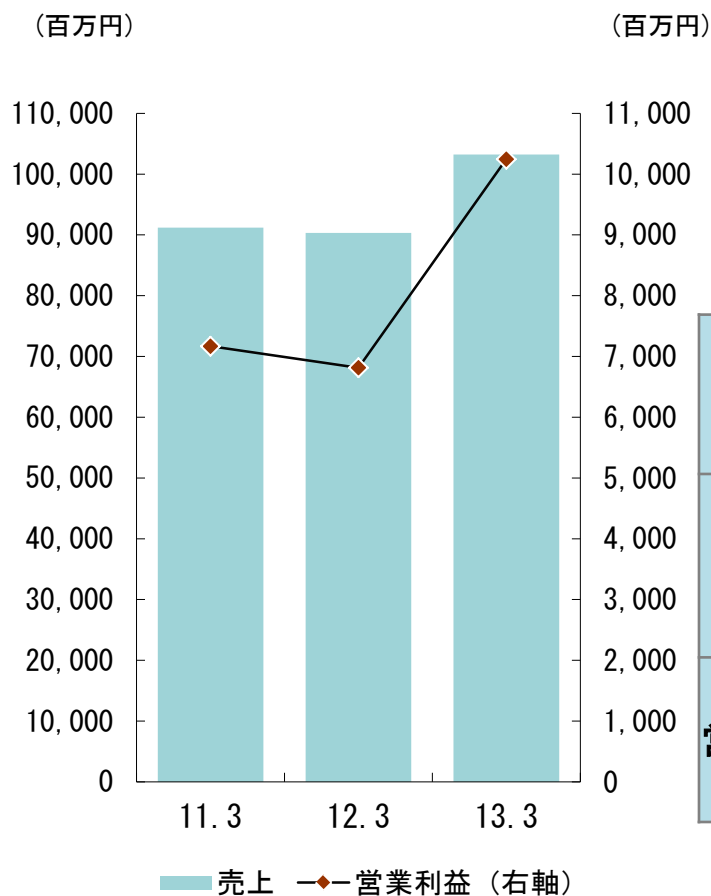
セグメント別の売上高・営業利益の状況

- ◆ 自動車関連は、震災からの復興需要、国内エコカー補助金の効果などにより増産となり、ばね、シートはほぼ計画どおりの着地となった。
- ◆ 精密部品の中のHDD関連は、6月以降のHDDメーカーの生産調整・減産の影響、円高の影響により、計画未達となった。

		12. 3 実績	13. 3 実績	前期対比	13. 3 当初計画	13. 3 修正後計画
懸架ばね	売上高	903億円	1,032億円	14.3%	1,020億円	1,000億円
	営業利益	68億円	102億円	50.4%	94億円	90億円
	率	7.5%	9.9%	—	9.2%	9.0%
シート	売上高	1,757億円	2,087億円	18.8%	2,010億円	2,100億円
	営業利益	81億円	135億円	66.5%	135億円	130億円
	率	4.6%	6.5%	—	6.7%	6.2%
精密部品	売上高	999億円	1,233億円	23.4%	1,380億円	1,260億円
	営業利益	35億円	29億円	△16.8%	100億円	41億円
	率	3.5%	2.4%	—	7.2%	3.3%
産業機器 ほか	売上高	747億円	726億円	△2.8%	890億円	740億円
	営業利益	40億円	33億円	△17.9%	51億円	39億円
	率	5.4%	4.6%	—	5.7%	5.3%
合計	売上高	4,407億円	5,079億円	15.3%	5,300億円	5,100億円
	営業利益	224億円	300億円	33.5%	380億円	300億円
	率	5.1%	5.9%	—	7.2%	5.9%

13.3期決算実績③

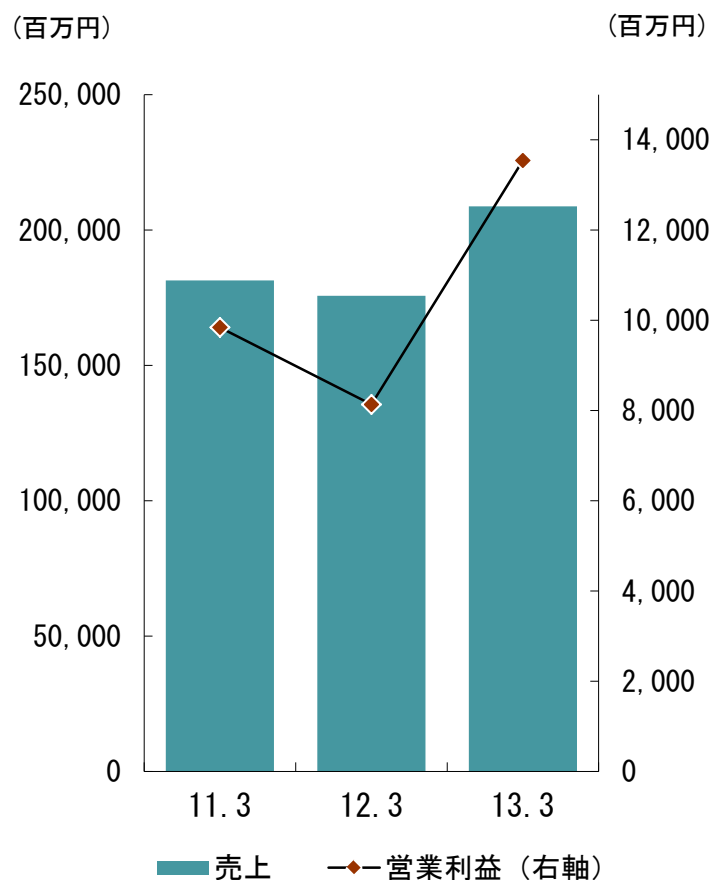
セグメント別分析① 懸架ばね



	12.3 実績	13.3 計画	13.3 実績	前期比	計画比
売上高	903億円	1,020億円	1,032億円	14.3%	1.2%
営業利益	68億円	94億円	102億円	50.4%	9.0%
営業利益率	7.5%	9.2%	9.9%	—	—

商用車を中心とした国内自動車生産増と原価低減により利益は計画より上振れた。

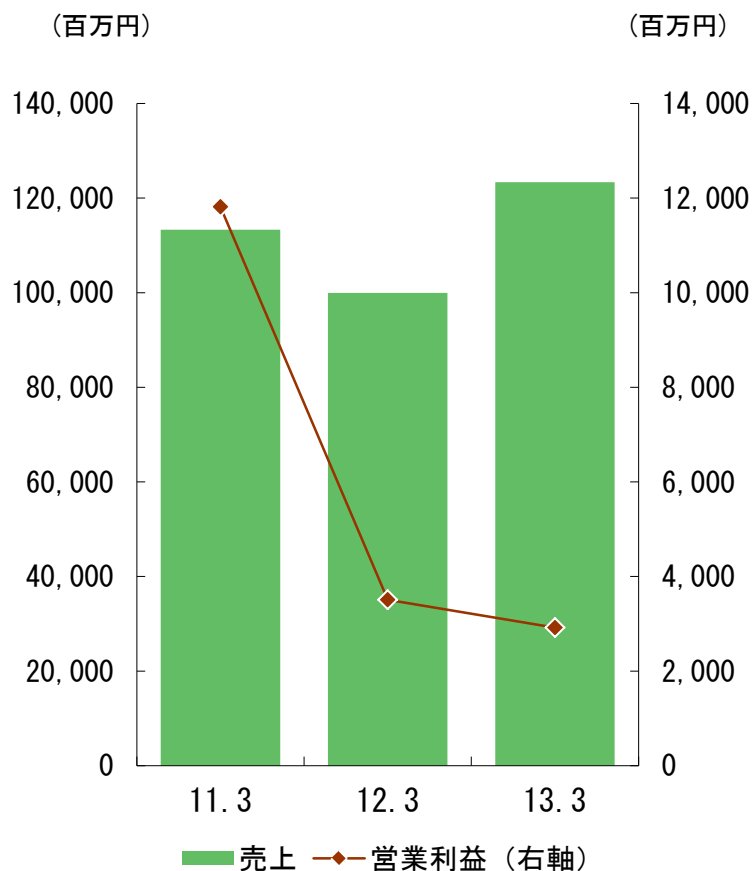
13.3期決算実績④ セグメント別分析② シート



	12.3 実績	13.3 計画	13.3 実績	前期比	計画比
売上高	1,757億円	2,010億円	2,087億円	18.8%	3.9%
営業利益	81億円	135億円	135億円	66.5%	0.3%
営業利益率	4.6%	6.7%	6.5%	—	—

国内自動車生産増により、売上は計画に対し上振れとなった。

13.3期決算実績⑤ セグメント別分析③ 精密部品

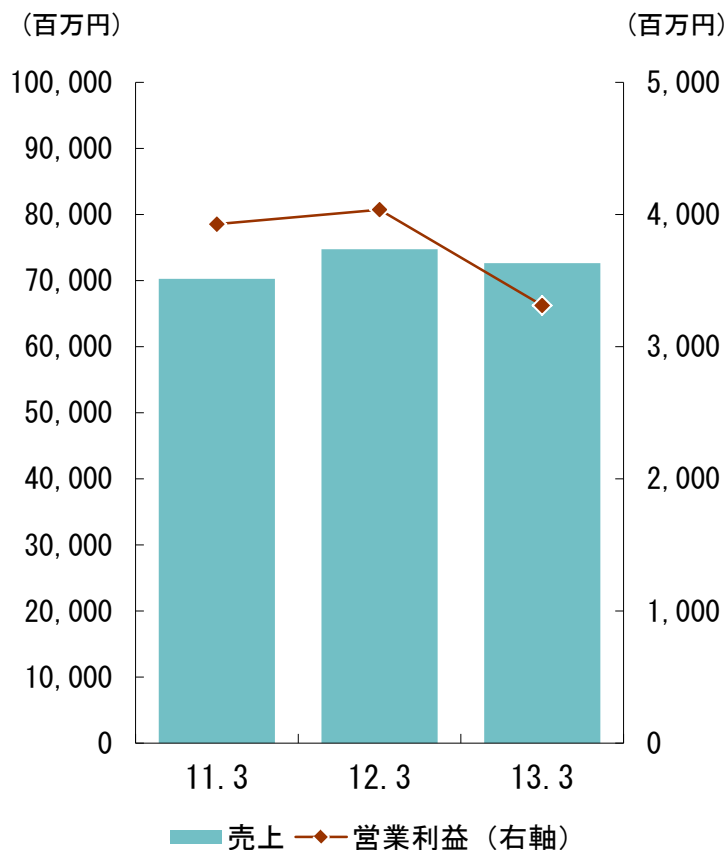


	12.3 実績	13.3 計画	13.3 実績	前期比	計画比
売上高	999億円	1,380億円	1,233億円	23.4%	△10.6%
営業利益	35億円	100億円	29億円	△16.8%	△70.8%
営業利益率	3.5%	7.2%	2.4%	—	—

6月以降のHDD用サスペンションの受注減、二輪車用チェーンテンショナーの受注減などにより、売上は計画未達。加えて円高の影響もあり、営業利益も未達となった。

13.3期決算実績⑥

セグメント別分析④ 産業機器ほか



	12.3 実績	13.3 計画	13.3 実績	前期比	計画比
売上高	747億円	890億円	726億円	△2.8%	△18.4%
営業利益	40億円	51億円	33億円	△17.9%	△35.1%
営業利益率	5.4%	5.7%	4.6%	—	—

計画・前期比に対し、売上、営業利益ともに未達となった。

13. 3期決算実績⑦

設備投資・減価償却費・研究開発費

(単位:百万円)

	12-3期 通期	13-3期 通期
設備投資	20,370	25,506
前年比	△0.8%	25.2%
減価償却費	21,371	21,393
前年比	△5.4%	0.1%
研究開発費	10,055	11,750
売上高比率	2.3%	2.3%

14. 3期事業計画

～海外での自動車生産の拡大、円安の流れを背景に

- ・売上高5,700億円(前期比12.2%増)
- ・営業利益380億円(前期比26.6%増)

を目指します～

執行役員経営企画部長 杉山徹

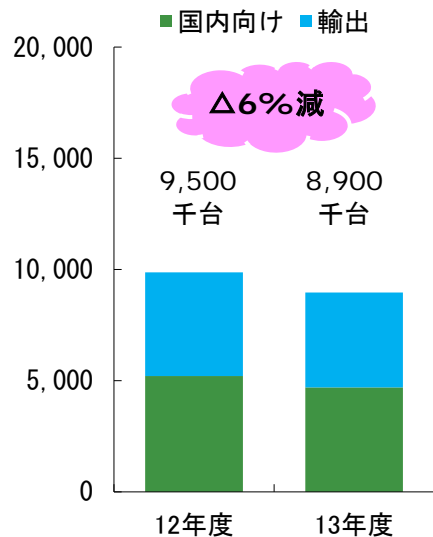


14. 3期事業計画①

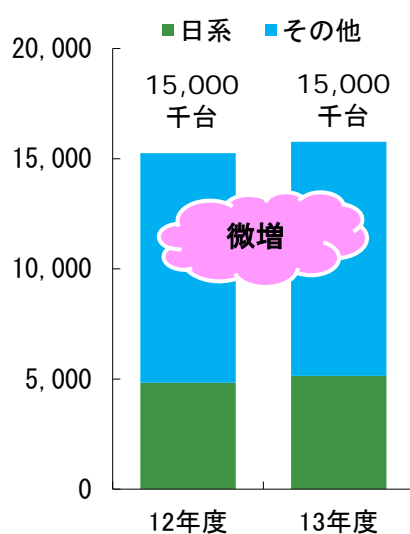
事業計画の前提条件(自動車生産台数、HDD台数)

日本

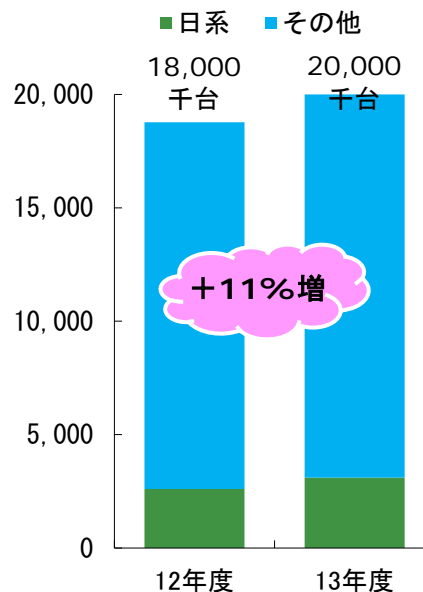
(単位:千台)



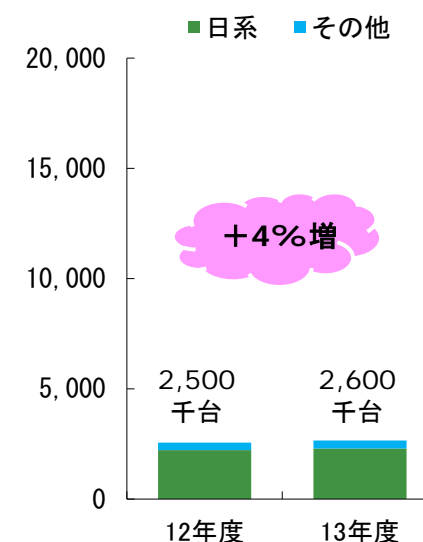
北米



中国

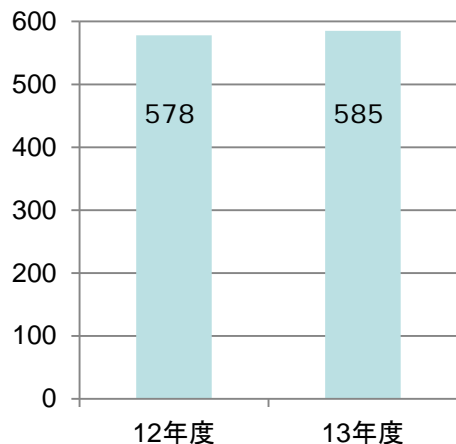


タイ



HDD台数

百万台



14. 3期事業計画②

2014年3月期 通期計画

- ◆ 米国・中国・アジア新興国での自動車生産の拡大、円安の流れを背景に、売上高は5,700億円、営業利益は380億円を計画。

(単位：百万円)

	13.3期 実績	14.3期 計画	前期比
売上高	507,985	570,000	12.2%
営業利益	30,020	38,000	26.6%
経常利益	34,907	40,000	14.6%
当期利益	20,333	27,000	32.8%
1株当たり当期純利益 (EPS 単位円)	83.70	111.16	—
為替レート US\$/円	83.23	95.00	—
為替レート THB/円	2.58	3.10	—

14. 3期事業計画③

セグメント別の売上高・営業利益の状況

- ◆ 自動車関連(懸架ばね、シート、精密部品・産業機器ほかの一部)は、世界生産の拡大及び為替影響もあり各セグメントで売上高は前期比増の見込み。
- ◆ 精密部品のうちHDD関連は、生産量の回復と為替影響もあり、売上高、営業利益ともに前期比増の見込み。

		13. 3期 実績	14. 3期計画			前期比
			上期予想	下期予想	通期予想	
懸架ばね	売上高	1,032億円	550億円	550億円	1,100億円	6.6%
	営業利益	102億円	44億円	45億円	89億円	△13.1%
	率	9.9%	8.0%	8.2%	8.1%	—
シート	売上高	2,087億円	1,190億円	1,260億円	2,450億円	17.4%
	営業利益	135億円	66億円	88億円	154億円	13.7%
	率	6.5%	5.5%	7.0%	6.3%	—
精密部品	売上高	1,233億円	650億円	720億円	1,370億円	11.0%
	営業利益	29億円	37億円	60億円	97億円	232.3%
	率	2.4%	5.7%	8.3%	7.1%	—
産業機器 ほか	売上高	726億円	360億円	420億円	780億円	7.4%
	営業利益	33億円	10億円	30億円	40億円	20.8%
	率	4.6%	2.8%	7.1%	5.1%	—
合計	売上高	5,079億円	2,750億円	2,950億円	5,700億円	12.2%
	営業利益	300億円	157億円	223億円	380億円	26.6%
	率	5.9%	5.7%	7.6%	6.7%	—

14. 3期事業計画④

地域別の売上高・営業利益の状況

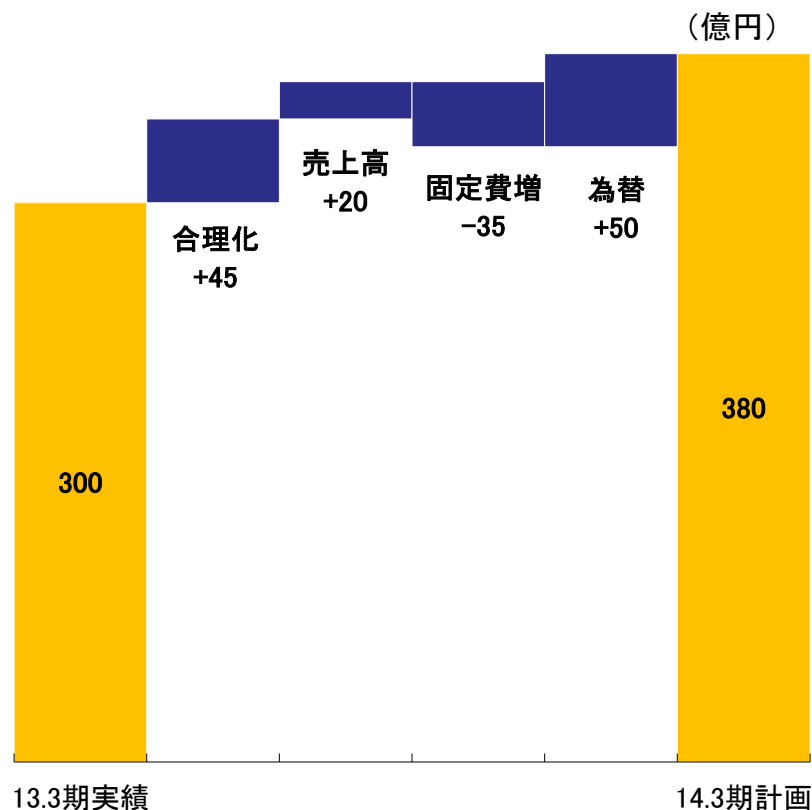
売上高は、日本は減少するものの、為替影響もあり、特にアジア・北米で増加。

		13. 3期	14. 3期計画	前期比
		実績	通期予想	
日本	売上高	3,332億円	3,230億円	△3.0%
	営業利益	179億円	205億円	14.5%
	率	5.4%	6.3%	—
北米	売上高	569億円	723億円	27.1%
	営業利益	21億円	22億円	4.8%
	率	3.7%	3.0%	—
アジア	売上高	1,178億円	1,747億円	48.3%
	営業利益	100億円	153億円	53.0%
	率	8.5%	8.8%	—
合計	売上高	5,079億円	5,700億円	12.2%
	営業利益	300億円	380億円	26.6%
	率	5.9%	6.7%	—

14. 3期事業計画⑤ 営業利益の変動要因分析

- ◆ 継続的な合理化の実施、アジアでの売上げ拡大、円安による為替影響により、営業利益は前期比：80億円の増加。

14. 3計画

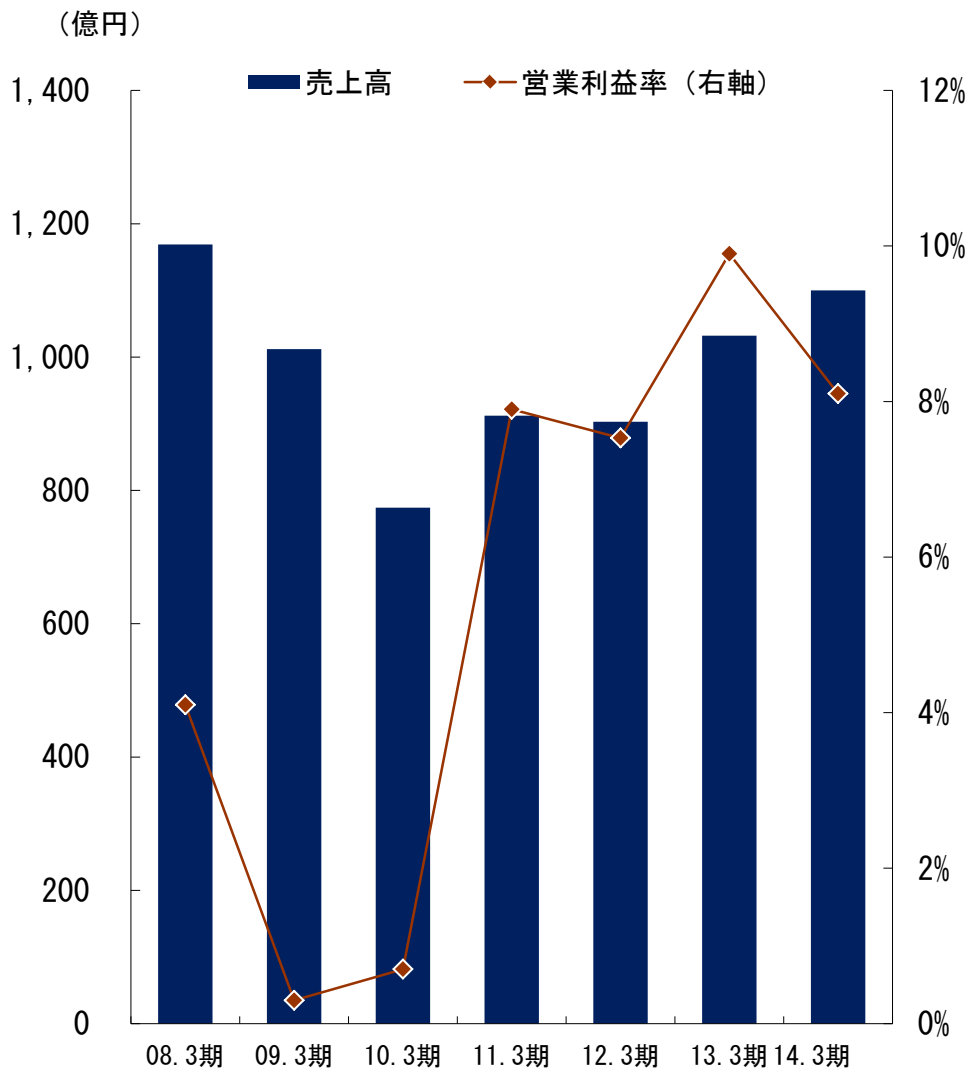


	前期 増減	増減要因	今後の対応
合理化	+45億円	変動費、固定費の合理化	更なる固定費削減、合理化の推進 (歩留り向上、タクトアップ等の活動を継続)
売上増	+20億円	売上増に伴う利益増	確実な受注の獲得、拡販
固定費増	-35億円	研究開発費、人件費の増加	投資回収の継続
為替	+50億円	円安メリットの享受	為替動向の注視

14. 3期事業計画⑥：セグメント①

懸架ばね 新興国・先進国両市場への拡大対応

売上高・営業利益率の見通し



14. 3期での取組み

- ◆ 国内：売上減による収益減対応
⇒収益維持に向けての更なる体質改善
- ◆ アジア：売上増による収益拡大
- ◆ 北米：メキシコ事業のスムーズな立上げ準備

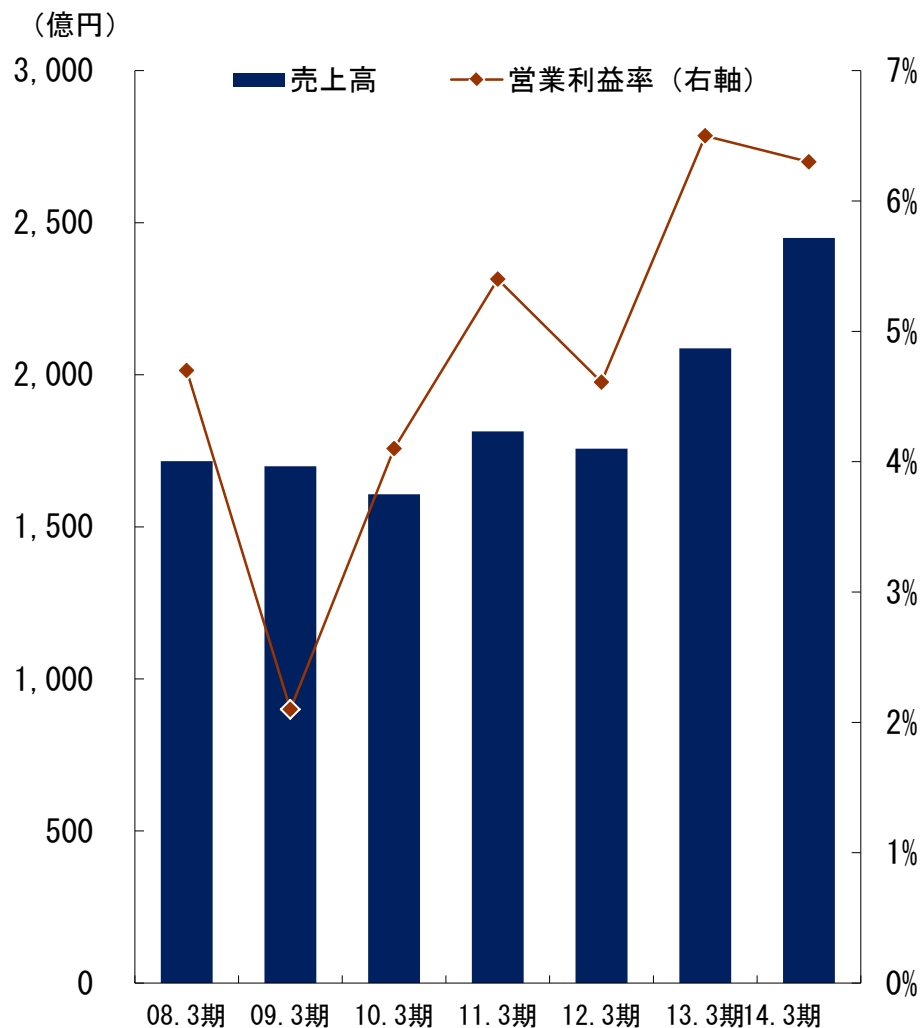
今後の課題

- ◆ 次世代軽量化ばねの開発と拡販
- ◆ 巻きばね・スタビライザ新生産ライン構想の実現
- ◆ グローバル材料調達の推進

14. 3期事業計画⑦：セグメント②

シート グローバル展開の推進（新規受注の獲得）

売上高・営業利益率の見通し



14. 3期での取組み

- ◆ 既存ビジネスでの収益確保継続とグローバル展開の推進
- ◆ 競争力強化のための原価管理・利益計画の充実
- ◆ 各客先との相互信頼関係の深耕

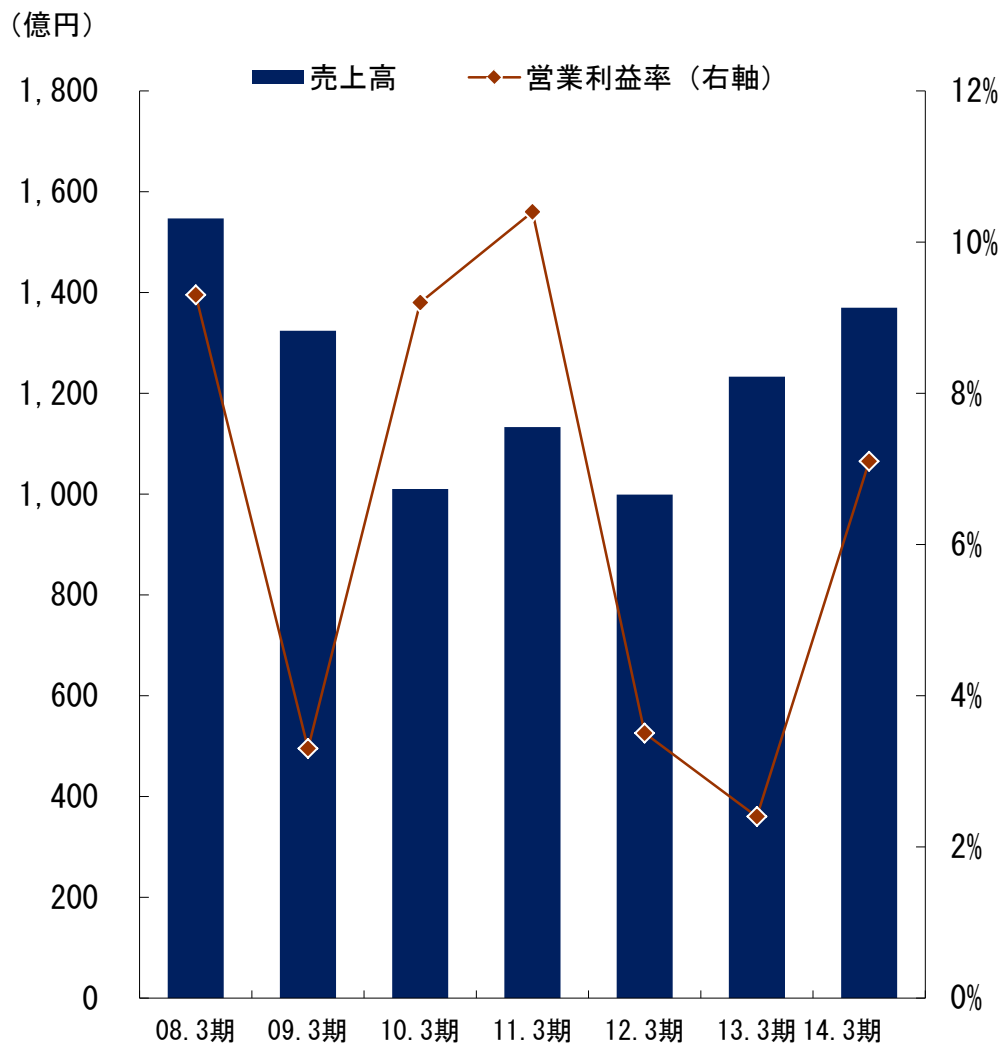
今後の課題

- ◆ 国内工場の更なる生産性向上、海外新規工場の収益貢献の早期化
- ◆ グローバル拡大への体制整備（開発要員の確保とレベルアップ）

14. 3期事業計画⑧：セグメント③

精密部品 新規受注の獲得

売上高・営業利益率の見通し



14. 3期での取組み

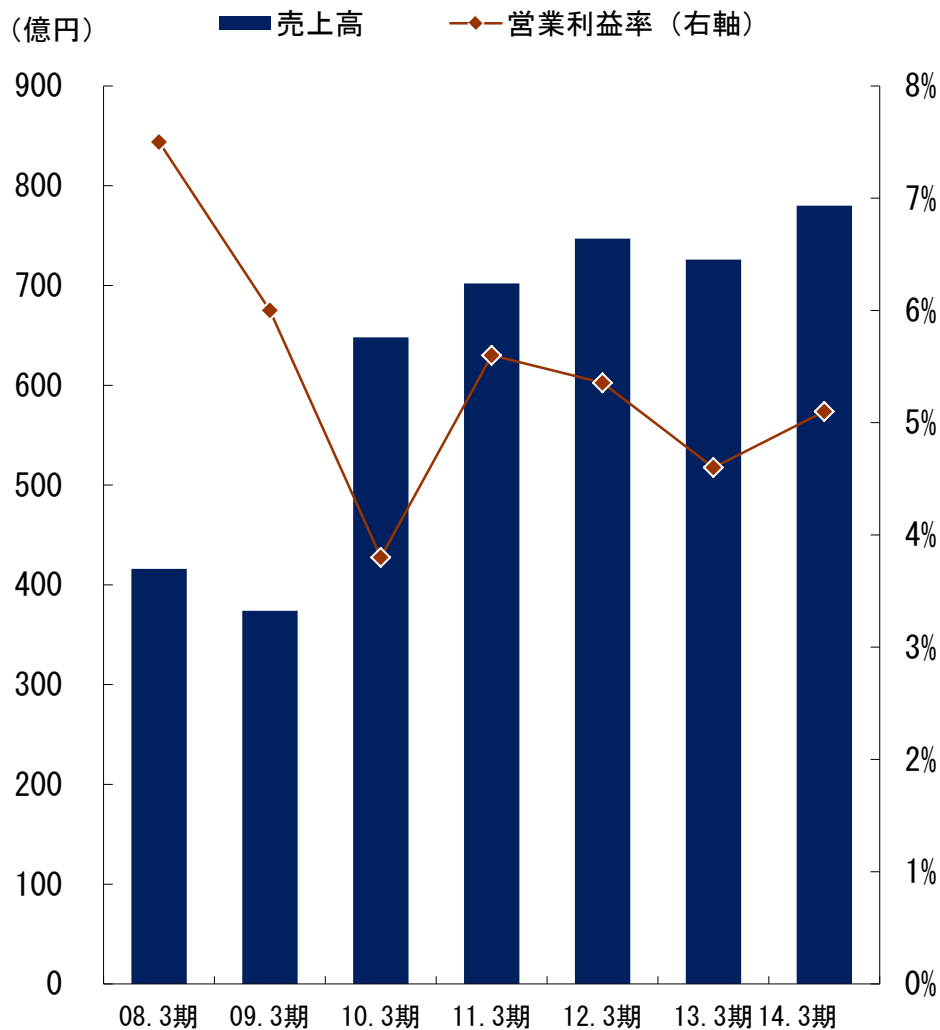
- ◆ 北米での収益回復
- ◆ 国内・海外拠点でのライン再構築による収益向上
- ◆ 新規受注の獲得

今後の課題

- ◆ HDD用サスペンションの更なる拡販
- ◆ モーターコア事業の確立
- ◆ 為替動向の注視

14. 3期事業計画⑨：セグメント④ 産業機器ほか 成長市場での売上拡大

売上高・営業利益率の見通し



14. 3期での取組み

- ◆ 北米・グローバル市場でのシェア拡大 (ICM・電子)
- ◆ 中国マーケットの取込み (特品・化成品)
- ◆ ソフト事業の拡大 (配管)

今後の課題

- ◆ セキュリティ分野における応用製品の開発
- ◆ 非自動車分野における営業力・マーケティング力の更なる深耕

14. 3期事業計画⑩

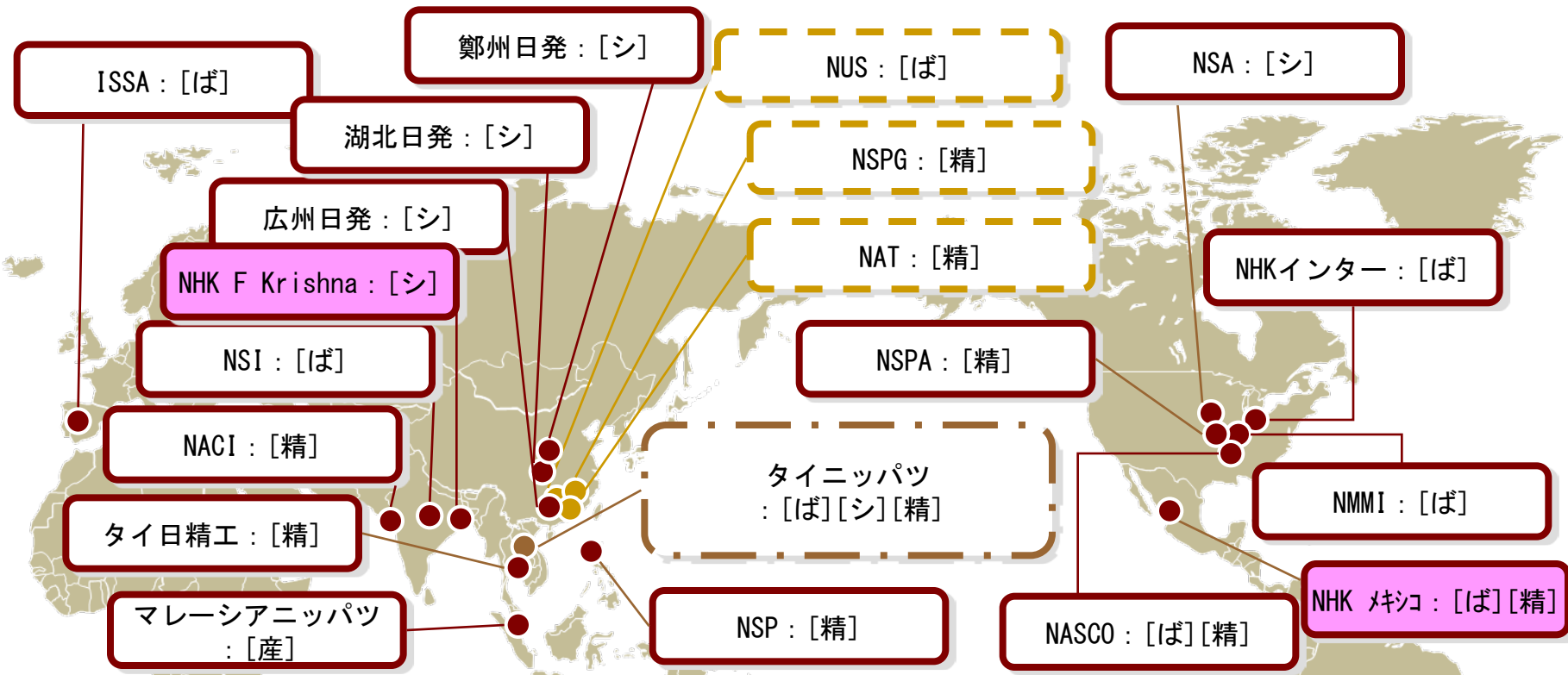
設備投資・減価償却費・研究開発費

(単位:百万円)

		12-3期	13-3期	14-3期
		通期	通期	通期予想
設備投資	国内	9,563	13,535	10,504
	海外	10,807	11,971	8,415
	合計	20,370	25,506	18,919
減価償却費	国内	13,647	13,666	12,571
	海外	7,724	7,727	7,650
	合計	21,371	21,393	20,221
研究開発費	合計	10,055	11,750	14,104

14. 3期事業計画⑪

海外展開の状況：主要海外拠点

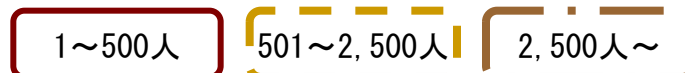


事業区分	米州	アジア				欧州
		中国	タイ	インド	他	
懸架ばね	○	○	○	○	×	○
シート	○	○	○	○	×	×
精密部品	○	○	○	○	○	×
産業機器ほか	×	×	×	×	○	×

[ば]: 懸架ばね、[シ]: シート、[精]: 精密部品、[産] 産業機器ほか

注: RNA、ISSAIは持分法適用会社

従業員数、会社規模:



14. 3期事業計画⑫ 新たな海外展開①

インドにおける自動車用シート合弁事業の展開

インドにおいて、旺盛な自動車の需要に対応するため、現地会社クリシュナグループ（以下クリシュナ）及びフランスのフォルシア社と合弁により、自動車用シートの製造・販売を行うものである。なお、インドにおける当社のグループ会社は、自動車懸架用ばね、精密ばねの事業会社に次いで三社目となる。

<会社の概要>

- ①会社名 NHK F.Krishna India Automotive Seating Private Limited.
(ニッパツ エフ クリシュナ インド オートモーティブ シーティング有限会社)
- ②所在地 インド タミルナド州チェンナイ市近郊オラガダム工業団地
- ③資本金 200百万ルピー (378百万円)
- ④出資比率 ニッパツ51%、クリシュナ30%、フォルシア19%
- ⑤事業内容 自動車用シートの製造・販売
- ⑥工場規模 敷地面積：8,000㎡、延床面積：3,500㎡
- ⑦売上高 1,203百万ルピー (2,274百万円、2015年度予定)
- ⑧生産開始 2013年12月

メキシコにおける新規事業展開

(1) 自動車懸架用ばねの生産会社設立

- ①会社名 NHK SPRING MEXICO S. A. DE C. V (ニッパツメキシコ株式会社)
- ②設立 2013年8月予定(資本金：22百万USドル 約273百万ペソ 約21億円)
- ③所在地 メキシコ合衆国グアナファト州
- ④出資比率 NHKインターナショナル(ニッパツの米国子会社) 100%
- ⑤事業内容 自動車用懸架ばねの製造・販売
- ⑥売上規模 15百万USドル(1,425百万円、2018年度予定)

(2) 連結子会社 株式会社トープラによる現地法人設立

- ①会社名 Topura Fastener de MEXICO S. A. de C. V (仮称)
- ②設立 2013年6月予定(資本金：約183百万ペソ 約14億円)
- ③所在地 上記懸架用ばね生産会社敷地内
- ④出資比率 トープラ 44.6%、T A F (トープラの米国子会社) 22.1%、NHKインターナショナル(ニッパツの米国子会社) 33.3%
- ⑤事業内容 ねじ、ボルトの製造・販売
- ⑥売上規模 約221百万ペソ(約17億円、2017年度目標)

ご清聴ありがとうございました

補足資料



Q: 主要カーメーカーへの売上比率は？

A: 13年3月期の実績は下表のとおり。

主要カーメーカー	12.3期	13.3期	コメント
トヨタグループ	17%	18%	
日産グループ	14%	13%	
富士重グループ	13%	13%	
スズキグループ	6%	5%	
いすゞグループ	5%	6%	
ホンダグループ	4%	4%	
マツダグループ	2%	2%	
フォードグループ	1%	1%	
UDトラックス	-	-	
三菱ふそうトラック・バス	-	-	
三菱自動車グループ	-	0.6%	タイニッパツでのシート受注
上位3社	44%	44%	
その他	56%	56%	

※比率は総売上高に対する割合

Q:14年3月期予算の前提条件は？

A:14年3月期の予算前提条件は下表のとおり。

	13年度上期	13年度下期	13年度通期
自動車関係			
国内自動車生産台数	428万台	468万台	896万台
HDD関係 (注) 暦年ベース			
HDD生産台数	275百万台	310百万台	585百万台
サスペンション総需要	968百万個	1,091百万個	2,059百万個
サスカウント	3.52	3.52	3.52
NHK計画数量	464百万個	511百万個	975百万個
その他			
予算為替レート US\$	95円	95円	95円
予算為替レート THB	3.1円	3.1円	3.1円
(為替感応度 1円/US\$)	—	—	(約3億円)

Q:HDD用サスペンションの拠点別数量は？（暦年ベースと決算ベース）

A:2012年の実績、2013年の実勢は下表のとおり。

（単位：百万台）

暦年ベース	CQ1	CQ2	上期	CQ3	CQ4	下期	通期
2012年実績	256	235	491	193	200	393	884
<日本>	118	110	228	84	78	162	390
<中国>	42	50	92	50	61	111	203
<タイ>	96	75	171	59	61	120	291
2013年実勢	183						
<日本>	77						
<中国>	41						
<タイ>	65						

決算ベース	Q1	Q2	上期	Q3	Q4	下期	通期
2012年実績	248	209	457	187	199	386	843
<日本>	110	84	194	78	77	155	349
<中国>	42	50	92	50	61	111	203
<タイ>	96	75	171	59	61	120	291
2013年実勢							
<日本>							
<中国>	41						
<タイ>	65						

補足資料：よくある質問と回答④

HDD関連の状況

HDD台数(百万台)

	CQ1	CQ2	上期	CQ3	CQ4	下期	通期
2012年実績	146	157	303	139	136	275	578
2013年計画	130	145	275	150	160	310	585

サスペンション総需要(百万個)

	CQ1	CQ2	上期	CQ3	CQ4	下期	通期
2012年実績	558	552	1,110	510	509	1,019	2,129
2013年計画	458	510	968	528	563	1,091	2,059

サスペンションカウント(個)

	CQ1	CQ2	上期	CQ3	CQ4	下期	通期
2012年実績	3.81	3.52	3.66	3.67	3.75	3.71	3.68
2013年計画	3.52	3.52	3.52	3.52	3.52	3.52	3.52

NHK数量(百万個)

	CQ1	CQ2	上期	CQ3	CQ4	下期	通期
2012年実績	256	235	491	194	200	394	885

NHKシェア(%)

	CQ1	CQ2	上期	CQ3	CQ4	下期	通期
2012年実績	45.7	42.6	44.1	37.9	39.2	38.8	41.5

[注]HDD台数、サスペンション総需要、サスペンションカウント、シェアは当社推定値。

- ◆ 2012年のHDD市場は、タイ洪水からの復活が期待されたが、CQ2後半から失速。
- ◆ 6月からHDDメーカー生産計画の下方修正が相次いだ。
- ◆ HDD台数減は、世界的な経済低迷の中、IT投資の落ち込み、PC需要の停滞、IT市場におけるタブレット端末やスマートフォンの台頭などによるもの。
- ◆ HDDについては、これまでのような伸びは期待できず、今後は、シェアアップ、コスト競争力の強化などにより、収益向上を図る。

補足資料よくある質問と回答⑤

13. 3期の地域別売上高比率

(単位：億円)

		日本	北米	アジア				合計
				中国	タイ	他	計	
懸架ばね	売上高	765	200	63	219	39	323	1,289
	率	12.7%	3.3%	1.1%	3.7%	0.7%	5.4%	21.5%
シート	売上高	1,644	348	0	440	0	440	2,434
	率	27.4%	5.8%	0.0%	7.3%	0.0%	7.3%	40.5%
精密部品	売上高	924	30	119	298	0	418	1,372
	率	15.4%	0.5%	2.0%	5.0%	0.0%	7.0%	22.9%
産業機器他	売上高	894	0	0	0	12	12	906
	率	14.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.2%	15.1%
合計	売上高	4,228	579	183	959	52	1,194	6,002
	率	70.4%	9.7%	3.0%	16.0%	0.9%	19.9%	100.0%

※数値は単純合算